

野木町 校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

令和5年3月、文部科学省は「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言をまとめ、各自治体に向けて、これからの校務 DX の方向性を示した。当該提言では、校務の情報化を加速し、教育の負担軽減と教育の質の向上を目指すという方針の下、校務系・学習系ネットワークの統合や、ICT 環境の整備と運用支援の強化などが挙げられている。

現在、本町では教職員が校務で使用するパソコン等が接続された「校務用ネットワーク」と、児童生徒が使う「学習用ネットワーク」があり、両者を論理的に分離することによりセキュリティは保たれているが、セキュリティ上端末を2台所持する必要があることや、端末間のデータ共有が出来ない、また、使用環境が限られることにより柔軟に働くことが難しい等の課題がある。

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

今後の課題解決策として、教職員が柔軟かつ安全に働ける環境及び教育の負担軽減と教育の質の向上を実現するためのニーズを把握し、「ゼロトラスト」の考え方にに基づき十分なセキュリティ対策を講じながら、教育委員会・学校・関連業者等と連携し、ネットワークの統合、パブリッククラウドを使用した「次世代の校務支援システム」の整備等の検討を進めていく。